

海外安全対策情報（2021年7月～9月）

1 社会・治安情勢

ニカラグアでは、本年11月、大統領選挙が予定されているものの、警察当局にデモ実施の許可権限があるため、これまで反政府派団体による主立ったデモ・集会等の抗議運動は発生していません。しかし、今後、突発的に当局の許可なしに抗議運動が発生する可能性は否定できませんので、最新情報をインターネット、SNS等でご確認ください。

治安情勢は、「2018年の社会騒乱後の外国資本の撤退」、「新型コロナウイルスの感染症の影響」による慢性的な経済不況が続いており失業者が増加している中、恩赦により一般囚人を大量釈放したことなどが要因となり、治安情勢は悪化しています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

慢性的な経済不況に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による失業者が増加する中、昨年、政府は一般囚人を大量に釈放しているため治安情勢が悪化しています。

ニカラグアでは、オートバイ乗りの男二人組による路上強盗、タクシー強盗、バス内での拳銃を使用した強盗、コンビニ強盗が発生しています。犯人は必ず拳銃、刃物等の凶器を携帯し、被害者が抵抗した場合、容赦なく攻撃するので、万が一被害に遭ったときは、絶対に抵抗しないことが重要です。さらに、強盗等の被害事例を分析すると、日時・場所を問わず、路上を歩行中に被害に遭うことが多いため、移動の際には、たとえ短い距離であっても自家用車両を利用することをお勧めします。

また、不在中の住宅に侵入し現金等を窃取する盗難事件が発生しておりますので、現金等の貴重品は確実に金庫等の安全な場所に保管するようお願いいたします。

(2) 日本人の被害例

ア 2021年

これまで日本人の被害は確認していません。

イ 2020年

● 窃盗（客室狙い）

9月11日（金曜日）午後1時から午後6時半までの間、マナグア市メトロセントロ付近に所在のアパートにおいて、居住者が外出した際、何者かが侵入し、スーツケース中の現金を盗んだ。

ウ 2018年・2019年

● 恐喝

2018年3月14日（水曜日）午後8時30分頃、被害者がマナグア市ロス・ロブレス地区の路上を一人で歩行中、前方から来た男に所持していたカバンを渡すよう要求されたため、危険を察知した被害者が即座に鞆を差し出したところ、男は危害

を加えることなく、仲間の男と共にオートバイで逃走した。

● 強盗（拳銃使用）

2018年6月6日（水曜日）午後2時30分頃、被害者2名がマナグア市ビジャ・サンタフェ地区の路上を歩行中、後方から来たバイク乗りの二人組に拳銃を突きつけられたため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなくオートバイで逃走した。

● 強盗（刃物使用）

2018年12月14日（金曜日）午後6時頃、マナグア市内のショッピングセンター「ガレリア・サント・ドミンゴ」付近路上を被害者2名が歩行中、若い男ら5、6名が後方から接近し、ナイフを突きつけて脅迫したため、所持していた鞆を差し出したところ、男らは危害を加えることなく走って逃走した。

● 窃盗（置き引き）

2019年10月8日（火曜日）午後4時頃、被害者は、リバス県からコスタリカ行きのバスに乗車し、その際、旅券・現金・パソコン・カード類等在中のリュックサックを網棚に乗せたところ、下車時に盗難被害に気づいたもの。

(3) 7月から9月に発生した凶悪犯罪の例

ア 殺人（拳銃使用）

7月5日（月曜日）正午、マナグア市ビジャグアダルーペ地区の公道で、男性数名がサッカーをしていたところ、バイクに乗った2人組から銃撃を受け、男性2名（24歳、26歳）が死亡した。

イ 強盗（拳銃使用）

8月17日（火曜日）午前11時頃、マナグア市第5管区で、男女2名が、バイクで自宅に帰宅した際、突然、バイクに乗った2人組に銃器を突きつけられ、バイクを奪われた。

ウ 窃盗（車上狙い）

9月16日（木曜日）夜、エステリ県において、男性が銀行で下ろした現金1万1千ドルを運搬中、公園に立ち寄った際、車を離れたところ、短時間に車両のドアが開けられ自動車内の現金が盗難被害に遭った。

エ 拳銃殺人（タクシー料金トラブル）

9月20日（月曜日）午前3時50分頃、グラナダ県グラナダ市において、タクシー乗客の男性（20歳）が降車の際、料金トラブルになり、タクシー運転手から撃たれて死亡した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

発生なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 日本人・外国人に対する誘拐事件

認知していない。

(2) ニカラグア人に対する誘拐事件

・ 女兒誘拐

8月20日（金曜日）午前8時頃、マタガルパ県マタガルパ市の民家から、生後11ヶ月の女兒が行方不明となり、その数時間後、警察に保護された。その後、67歳の女が誘拐犯として逮捕された。

5 日本企業の安全に関する諸問題

日本企業が、当国において直接標的とされた脅迫、破壊行為、嫌がらせ行為等の被害を受け、またはバッシング、デモ等の対象となった事案は発生なし。